

QMGスコア

記入日	年 月 日		
担当医師名		患者名	

- 重症筋無力症(MG)では多彩な症状がみられるうえ、日内変動があり、外来診察だけで医師が患者さんの状態を正確に把握するのは困難な場合があります。
- 下の表は、MGの重症度を評価する「QMGスコア」です。合計点数が高いほど重症ということになります。
- 患者さんの症状の評価にお使いください。

患者さんの状態にあてはまる点数を点数記入欄にご記入のうえ、活用ください。

方法	正常	軽度	中等度	重度	点数記入欄	
Grade	0	1	2	3		
右方視、左方視時の複視出現までの時間(秒)	61	11~60	1~10	常時		
上方視時の眼瞼下垂出現までの時間(秒)	61	11~60	1~10	常時		
顔面筋力	正常に閉眼できる	完全に閉じることができ、少し弱い	完全に閉じることができ、抵抗を加えると容易に眼球結膜が露出する	完全に閉じることができない		
100ccの水の飲み込み	正常	軽度の誤嚥、咳払い	強い誤嚥、むせ、鼻への逆流	飲めない		
1~50まで数え、構音障害が出現するまで	50まで言える	30~49	10~29	1~9		
座位で上肢90°挙上可能な時間(秒)	右	240	90~239	10~89	0~9	
	左	240	90~239	10~89	0~9	
%FVC(努力肺活量/予測肺活量×100)	≥80	65~79	50~64	<50		
握力(kg)	利き手	男性	≥45	15~44	5~14	0~4
		女性	≥30	10~29	5~9	0~4
	反対側の手	男性	≥35	15~34	5~14	0~4
		女性	≥25	10~24	5~9	0~4
臥位で頭部45°挙上可能な時間(秒)	120	30~119	1~29	0		
臥位で下肢45°挙上可能な時間(秒)	右	100	31~99	1~30	0	
	左	100	31~99	1~30	0	
合計(0~39点)						

「重症筋無力症診療ガイドライン」作成委員会編、重症筋無力症診療ガイドライン2014。東京：南江堂；2014。